



R6. 10. 28

本実習オリエンテーション

考動カ

朝、言われなくても自分の椅子だけでなく、仲間の分も協力して並べる。自分たちで必要なことを考えて動くことができる。社会人として、大切なカですね。



R6. 10. 28 2年部の様子

再会の喜び

久しぶりの子供たちとの再会。子供たちも実習生の先生も笑顔いっぱいであれそうでした。さあ、子供たちとの3週間。楽しく実りあるものに！



R6. 10. 28

本実習オリエンテーション

出すべき時に声を出す

自分の思いや考えを臆さずに語る姿。出すべき時に、しっかりと声を出すことで、やる気が伝わる。まずは、自分から積極的に声を上げよう。



R6. 10. 28 3年部の様子

子供に寄り添う

子供とフラットな目線で見取る。目線が同じだと子供も安心して、自分の思いを語れます。どんどん側に寄って、子供の発言を聴き取っていきましょう。



R6. 10. 28

4年部学年会

板書の構造化

担当教諭から板書の構造化について学び。児童の気づきや考え方を整理し、個々の理解を深めるためには、どんな板書づくりをすればよいか考えてみましょう。

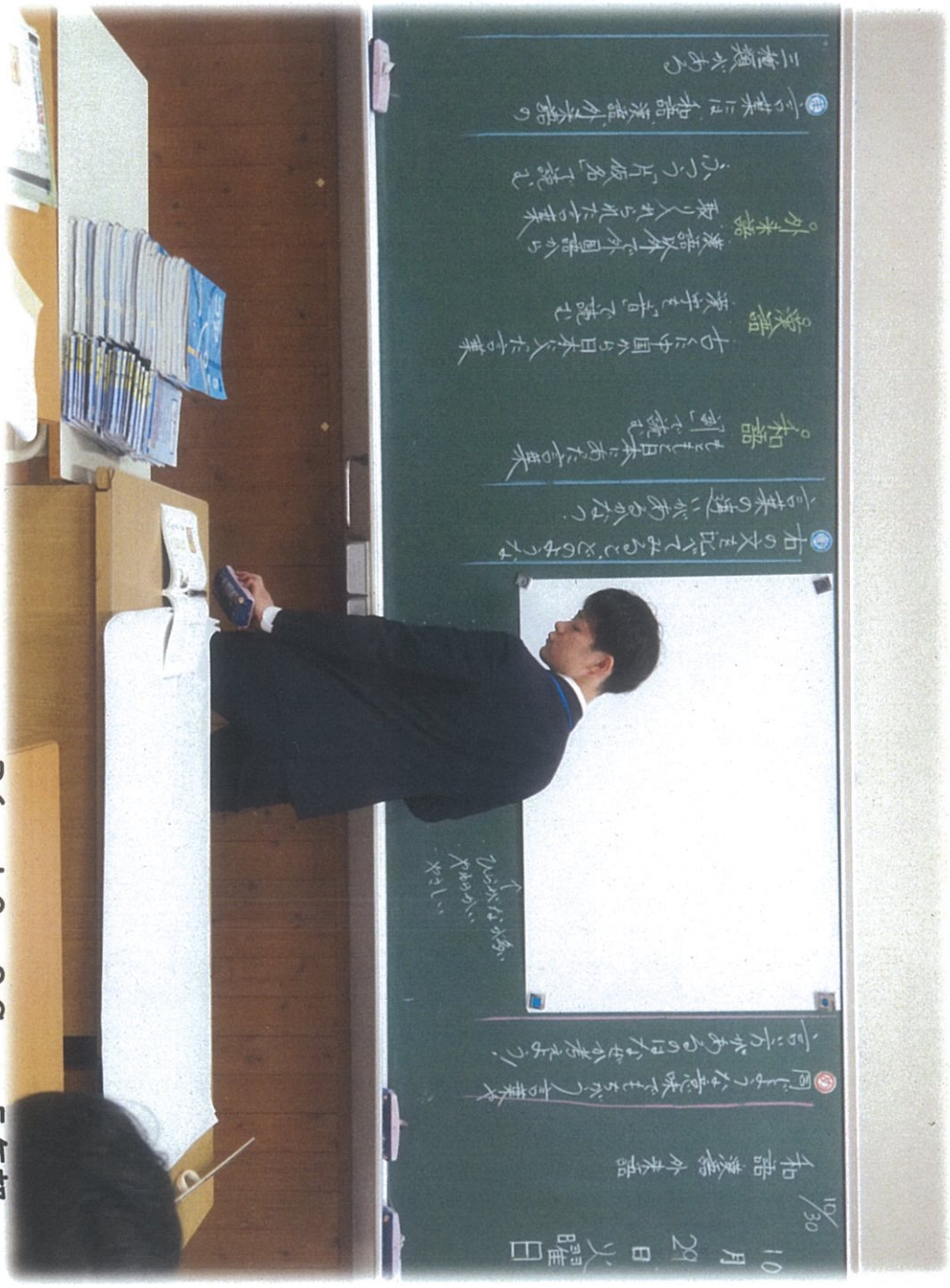


R6. 10. 28

3年部学会

情報活用能力

教材研究の手立てとして、「学習指導要領解説」や「指導と評価の一体化」の本を準備して読み込む。つけたい資質・能力について考えるのに役立ちます。



R6. 10. 29 5年部

板書練習

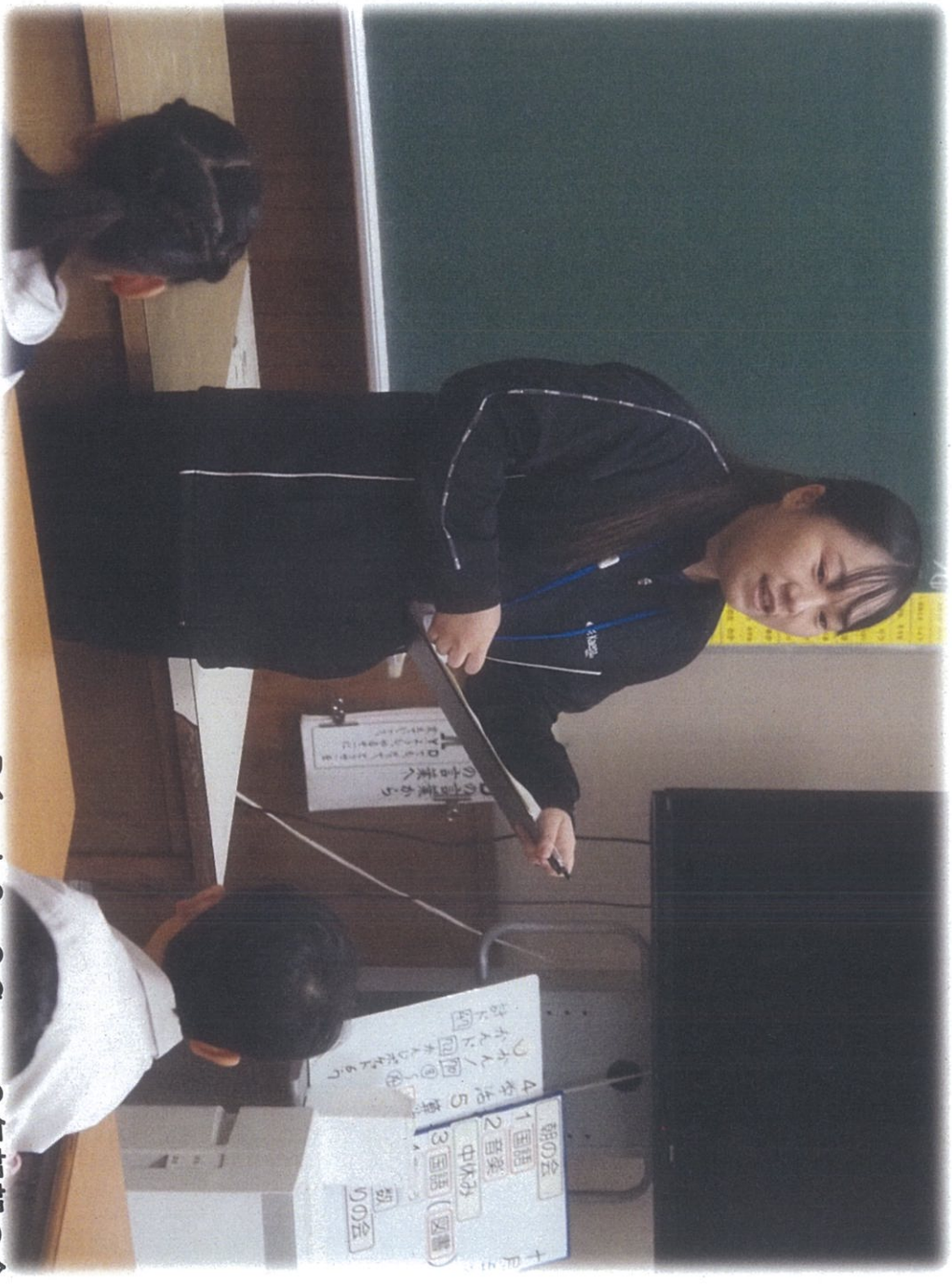
授業に向けて、板書練習をする。字の大きさ、色、配置、書く内容を実際の黒板で試す。子供たちが分かりやすいことを意識して準備をしています。



R6. 10. 29 2年部朝の時間

寸暇を惜しんで

朝、提出物をチェックしながら、子供とコミュニケーション。寸暇を惜しんで、ちょっとした時間でも子供と関わる。お互いがワクワクする！日のスタートに。



R6. 10. 29

2年部朝の会

ひとつにこだわってみる

朝の会の話。連絡事項を伝えるだけでなく、今日、がんばって欲しい課題も話す。子供と一緒に一日、そのことにこだわって過ごしてみるのもいいですね。



R6. 10. 29

5年生授業の様子

見取り名人

教室の後ろからだけでなく、前からも観察をする。子供の表情や活動の様子がよく見えます。同じ所からだけでなく、子供をよく見取れる位置を考えてみよう。



R6. 10. 29 下校指導

安全管理

下校指導は、目的を持って行う。立つ位置、声掛け、スムーズに落ち着いて安全に下校することをまずは教師が意識することが大切です。



R6. 10. 29 1年部学年会

産みの苦しみ

学年授業研の図工の授業を学年部のメンバーで考える。どんな手立てなら子供たちにつけたい力を付けることができるのか？難しくても苦しいけれど大切な時間。



R6.10.29

3年部朝の会

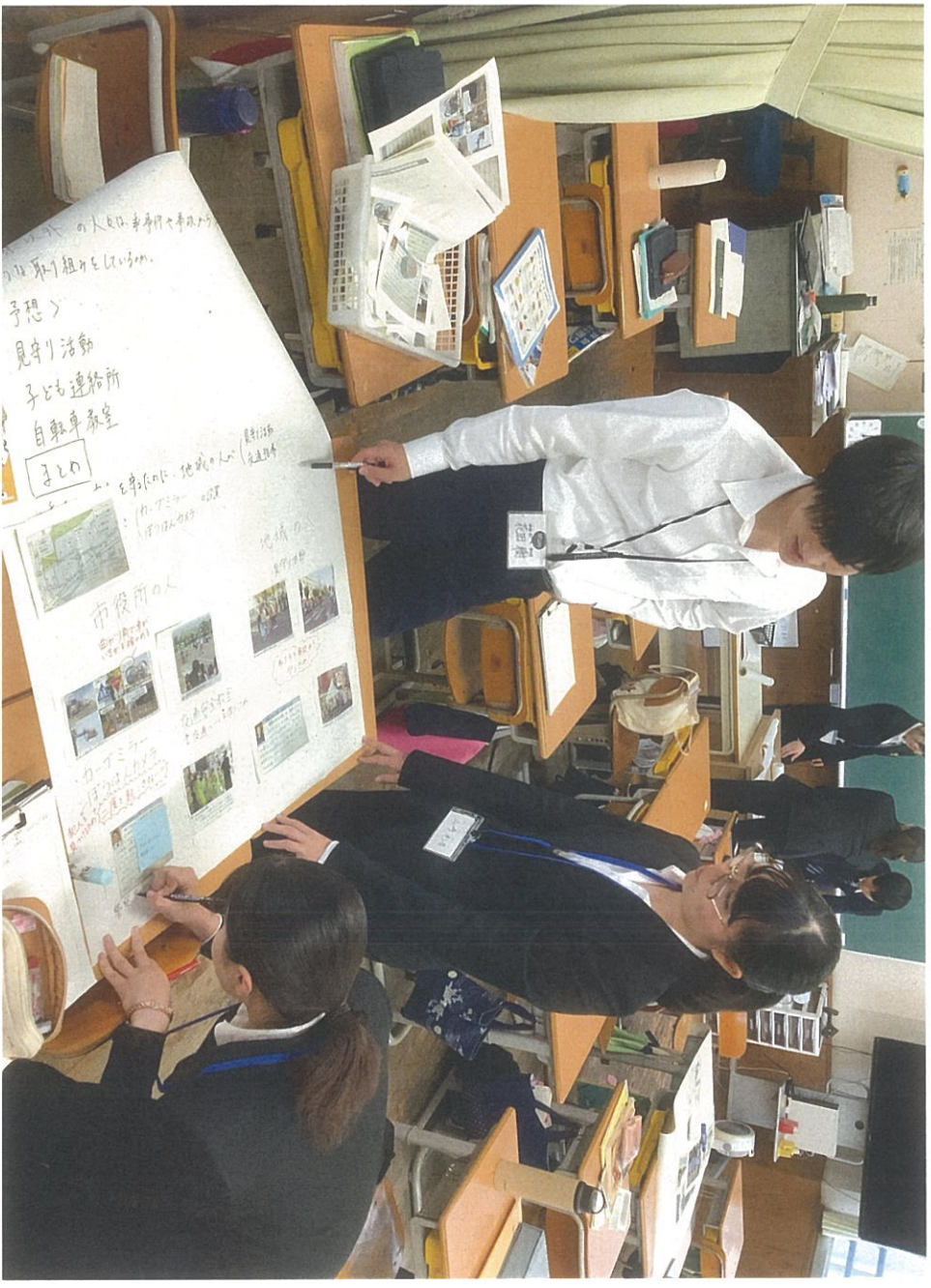
子供の言葉から

朝の会で、子供の言葉から、一日がんばることに気付かせていく。子供に主体性をもつことができるようにする、授業にもつながる大切な姿勢です。



常時記録

1日担任でなくても、児童の姿、教師の様子を記録して頂きました。学びのチャンスを自分から作れなくて、まさに「攻めの学び」です。



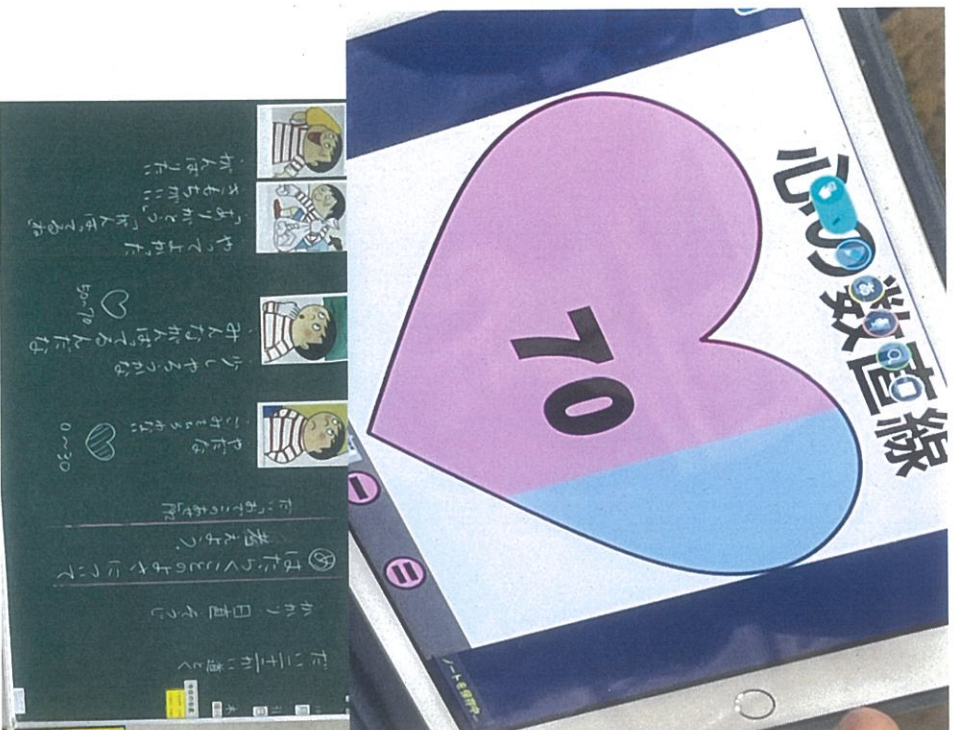
丁寧に予想

「どんな発問をすると、どんな反応が返ってくるか。」

「どんな資料をどのタイミングで提示すると、児童の思考の流れに合うか。」

様々な想定を、**丁寧に**予想して授業準備をしていました。

子どもを大切にしている証拠です。



「見える化」

自分と友達のはつきりと分けられな
い考えや気持ちを、「見える化」する
ことで、**共感**したり、**話を聞いてみた**
くなったりします。子どもたちが**自分**
事として、授業に臨める手立てです。



具体的に褒める

「いつ」「だれが」

「どのような」「どんな良さが」

を語ることで、説得力や納得感につながります。



R6. 10. 30 6年生の授業

記録録名人

児童の間に入って、座席表に子供の発言や記述をどんどん書き込んでいく。一人一人を大切にしたい見取りの表れです。記録の習慣がついてきています。



R6. 10. 31 6 年部授業

ロールプレイ

敬語の使い方について、児童に体験させてみる。実際の場面を想起させながらやってみることで、教室での学びを日常生活に近づけることができる。



R6. 10. 31 1年生授業

教材開発

似た漢字を子供たちに意識させ、違いが理解できるようにオリジナルの教材を考
えて作る。一瞬で「石」が「右」にチェン
ジする子供たちも驚きの仕掛けでした。



R6. 10. 31 5年生授業

熱い視線

この熱い眼差し。子供たちの行動や発言を決して見逃さないといい思いが伝わってきます。授業記録への真剣さは、きっと自分の授業や学級経営に生かされます。



R6. 10. 31

4年生授業

自分事として

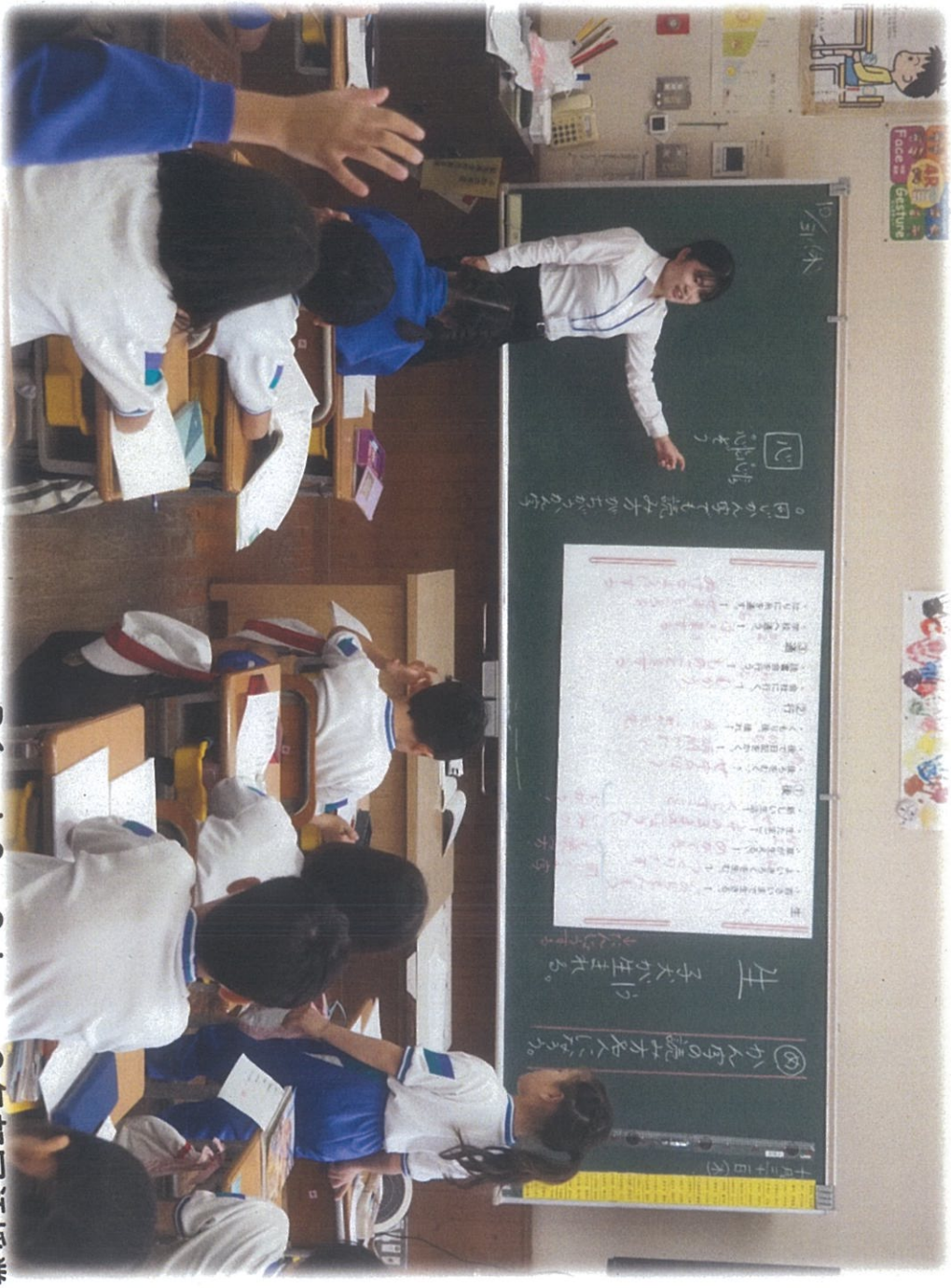
道徳で大切なのは、教材の内容と自分の生活をつなぐとこと。「経験したことある？」という発問は、自分の経験を語ることになる重要なものでした。



R6. 10. 31 中休み

大人気なく遊ぶ

子供は一緒に遊ぶ先生が大好きです。時には、大人気なく全力で子供たちと遊んでみましょう。子供とのつながりも深まり、児童理解も進みますよ。



R6. 10. 31 2年部国語授業

成長の跡

ハキハキと伝わる声で話したり、子供の
発言を進んで取り入れようとしたり、基
本的な授業力の高まりを感じます。中学
校や幼稚園での経験が生きていますね。



R6. 10. 31 キラキラ掃除

課題を出しっ放しにしない

前日の掃除で、子供たちに投げかけた課題を、今日の掃除できちんと見取り、できていたことを価値づけている。課題は出しっ放しにしないことが大切ですね。



R6. 10. 31 6年部教材研究

大人の本気

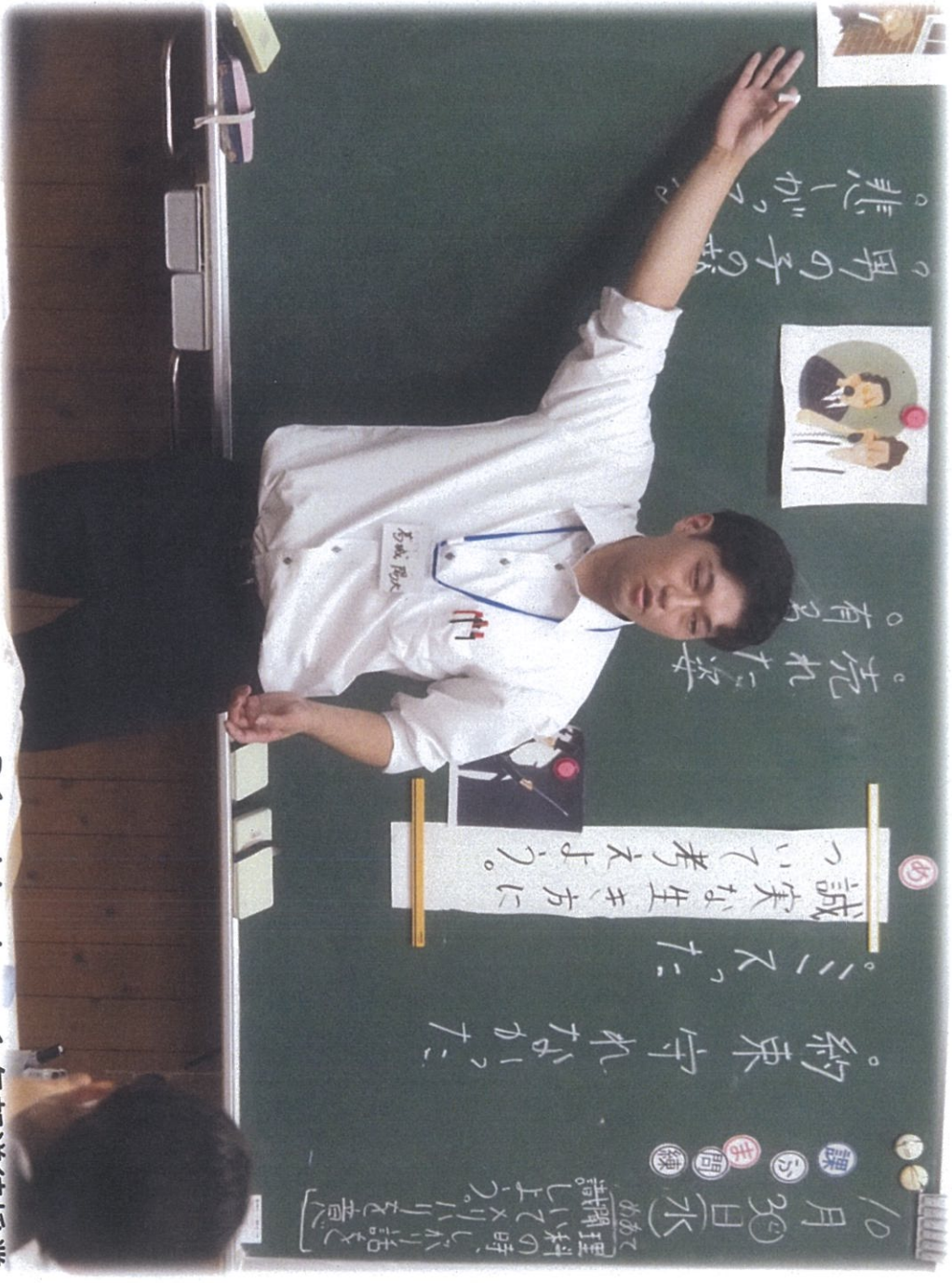
子供たちが話し合い自分たちで企画したハ
ロウィンパーティー。一緒に参加するた
めに自分たちも仮装を作る。子供に負け
ない本気の仮装。



R6. 11. 1 5年部算数授業

観察力を磨く

児童の間に入って積極的に記録をとって
いく。放課後の学年会で、記録を見返して
みると、授業中の児童の言動から成果や
課題がだんだん分かってくる。



R6. 11. 1 6年部道徳授業

日常が生きる

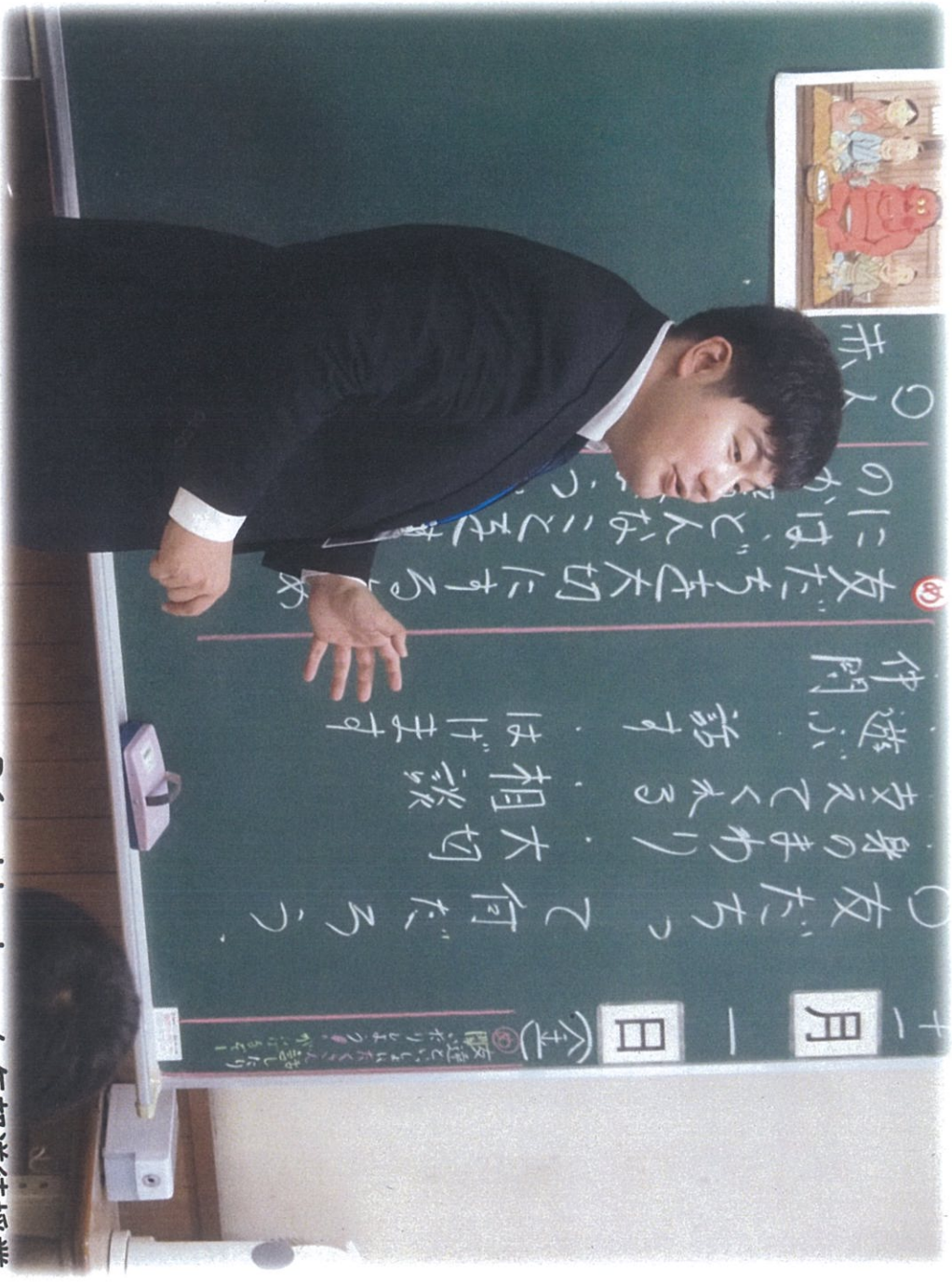
子供たちと対話をしながらの授業。楽し
そうな雰囲気の中で、進められるのは、日
頃から、子供たちと積極的に関わってい
るからです。



R6.11.1 3年部算数授業

前時とつなぐ

前時の子供の振り返りの言葉から、本時の課題を決めていく。教師だけでなく、子供と一緒に授業を創ろうとする姿勢が見られます。前時とのつながりも大事です。



R6. 11. 1 4 年部道徳授業

あたたかさ

笑顔で優しく、元気な話し方が、安心感を
生んでいます。何を話しても大丈夫だと
感じているからこそ、子供たちが自分の
思いを進んで語り合えていました。

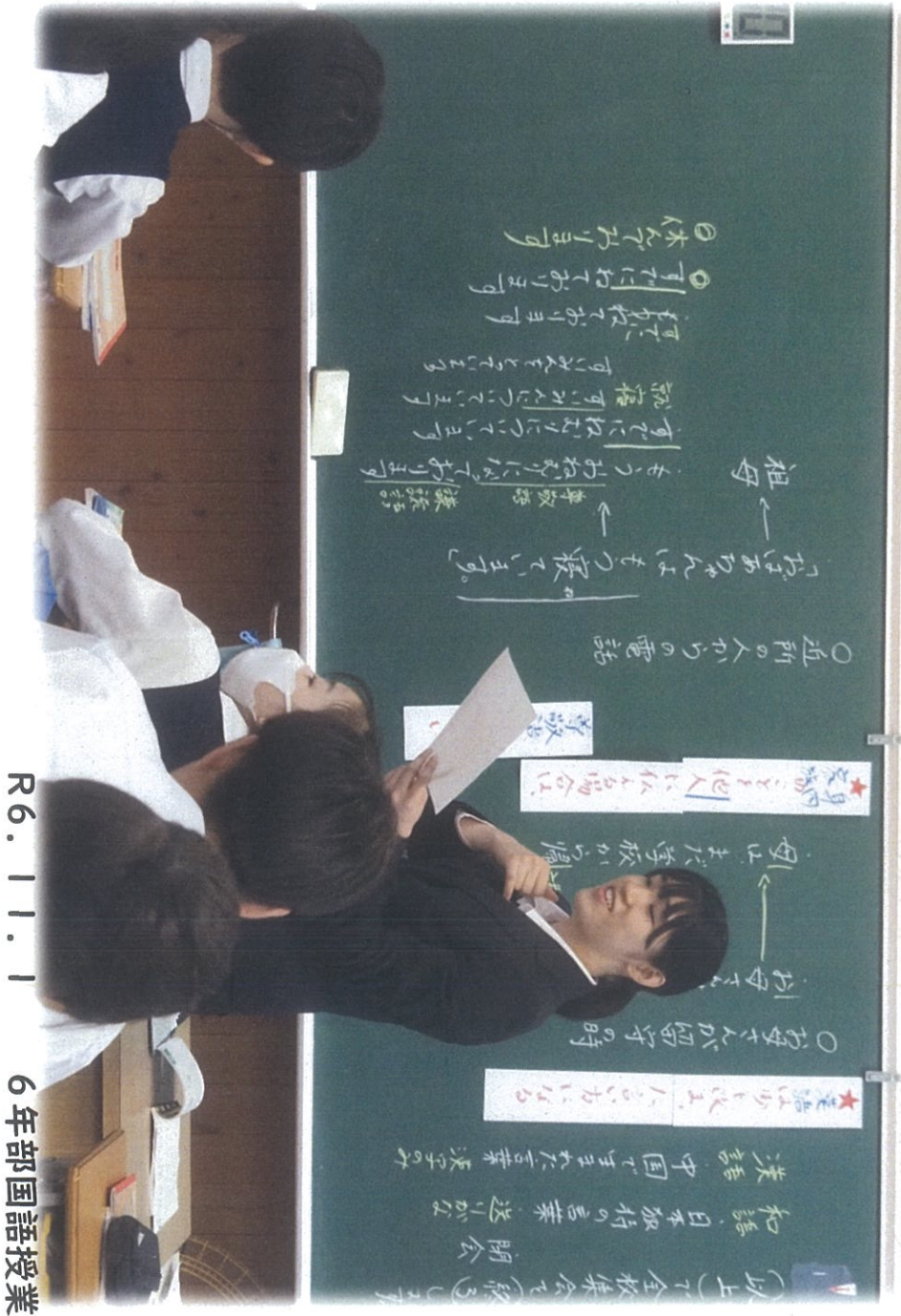


R6. 11. 1

6年部算数授業

子供の声を聴く

机間指導では、ていねいに一人一人の子供のノートを確認する。気になったことは、子供にたずねてみる。子供の考えや理解度をつかむことができます。



R6. 11.1 6年部国語授業

子供とやり取り

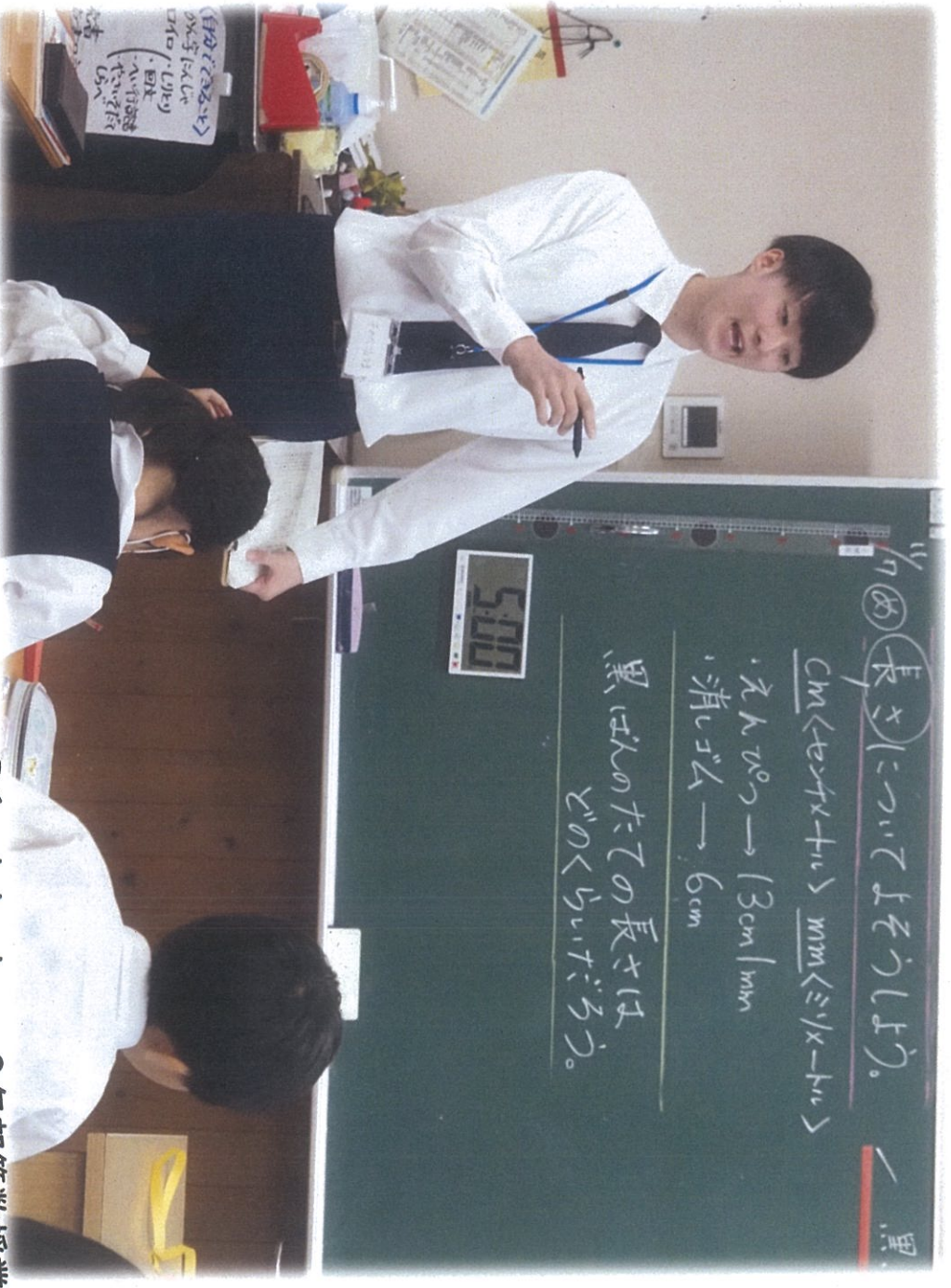
ロールプレイをする前に、教師と児童でやり取りを実際にやってみせる。今からする活動のイメージをつかおことができ、モチベーションもアップです。



R6. 11. 1 | 1年部算数授業

成功も失敗も糧に

授業をして、うまくいったこと、いかなかったことに自分で気付いたことが大切。全てを糧にして、次の授業への改善に生きてくるでしょう。



R6. 11. 1 2年部算数授業

困りから考える

黒板の縦の長さを30cm物差しだけで測る体験から、難しさや困りを感じる。困りの解決をめざすことで、子供たちが思考する必要性が生まれます。



R6. 11. 1 4年部道徳授業

即実行

実習生集会で話のあった見取りや記録の仕方をすぐ授業で実行に移す。素直な心が、学びへの意識を高め、自分の力がどんどんついていくことにつながりますね。



R6. 11. 5 キラキラ掃除

見つけに行く

積極的に子供のがんばりを見つげに行く。「今日も、子供のがんばりをたくさん見つけるぞ!」という雰囲気から伝わってきました。



R6. 11. 5 5年部家庭科授業

安全と衛生

子供たちの大好きな調理実習。楽しいけれど、命に関わる活動です。安全や衛生について配慮が必要。どんなことに気を付ければいいのか考えてみましょう。



R6. 11. 5

3年部社会授業

補助発問

子供の発言を揺さぶり、考えを深めるために切り返したり問い直したりする発問。「何で?」「何のため?」ポイントとなる補助発問についても考えてみよう。



R6. 11. 5 あいさつ運動

率先垂範

先生、自らがあいさつ運動に参加して、子供たちにあいさつのお手本を示す。何事も、先生の進んで取り組んでいる姿が、子供たちの心に響きます。



R6. 11. 5

2年部国語授業

本気の見取り

子供たちの言動を真剣に見取るうと思っ
たら、自然と子供の側に寄って、目線も下
がるものです。本気で見取れば、新たな気
付きが生まれるでしょう。



R6. 11. 5 キラキラ掃除

真の思いやり

子どもよりよい成長のために躊躇なく指導する。教師としての当たり前の役割です。思いや願いをしつかりと持っています。子どもたちには伝わるものです。



R6. 11. 6 3年部外国語活動の様子

一目の長

教職入門ゼミの1年生と一緒に授業観察を行う。進んで児童の側に行き、発言を聞き取るうとする姿は、初めて実習に参加する1年生のよいお手本でした。



R6. 11. 7

中休みの様子

見逃さない

中休み、廊下で話合いをしている体育委員会。その姿を見逃さず見取る。授業だけでなく、この隙間の児童の様子を知ることとは現場に出た時に必ず役立ちます。



R6.11.7

1年部図工授業

即時共有

ICT 端末の良さを生かす。すぐに学級全体に子供の作品の様子を共有する。友達
の作品について、その場で見合うことが
できるので、改善につながりやすいです。



R6. 11. 7

3年部社会授業

資料から思考

警察の事故・事件を減らす取組について
資料をもとに思考を促す。理由や経験を
話していただきました。経験では、児童に気持ちを
を問い返していました。



R6.11.7 2年部道徳授業

子供と創る

子供との対話を大切にしてい、授業を展開する。自分の経験から感じた思いを発言させながら、命の大切さについて、みんなで考えていく。



R6. 11. 11

給食指導の様子

マネジメント力

給食指導をしながら、ルールやマナーの
意味や意図を学ぶ。現場に出て、自分が学
級担任をした時に、1人で子供たちとマ
ネジメントができるように。



R6. 11. 11 4 年部学年授業事後検討会

見えなかつたものが見える

授業観察と授業実践を繰り返す中で、今まで気付かなかつたことが分かる。自分と担任の先生の授業を比べて、発言の違いが分かる。立派な成長ですね。



R6. 11. 11 3年部学年会

模擬授業

指導案ができたなら、試しに授業をやってみる。子供の反応等を具体的に予想しながら進める。必要な補助発問等を考えて、実際の授業に近付けていく。



R6. 11. 11

5年部帰りの会

わくわくとドキドキ

授業で扱った「歩幅王」の正解の長さを発表する。子供たちは、わくわくとドキドキしながら待っています。この感覚を持たせられるのが、たまらなくいいですね。



R6. 11. 11

6年部帰りの会

一日のしめくくりに

帰りの会で話す一言。短い時間で一日のしめくくりとして何を話すか？今日の子供たちのがんばりを価値づけ、明日への希望を持たせる大切なもの。



未来

② これからの体育授業の在り方

【前提】 学校体育は様々な背景（体力・技能など）を持った異質集団

「今、自分たちが持っている力でできること」を工夫していく

鈴木道雄ほか（2010）「ボール運動・球技の授業づくり」：教育出版P4

目標

に向かって、児童生徒の思考力・判断力・表現力を原動力とし、主体的・対話的で深い学びの成果として

「知識・技能」、「体力」が身にづく。

→目標までに様々なルート（学習過程）が見られる。

登山型体育カリキュラム

梅澤妙久（2020）真正の「共生体育」をつくる：大修館書P13

R6. 11. 11 6年部学年授業研事後検討会

ブラツシユアツツ

学年研の授業について、リラクシヨン
をする。成果、課題、改善点を話し合う。
学年部の仲間、担当教諭、大学の先生から
の言葉を元に授業をブラツシユアツツ。



R6.11.11

1年部学年会

練り上げる

学年研に向けて、これまでのみんなの経験をフルに活用して、授業を練り上げていく。子供たちに付けたい力は何か？ゴールの姿を想像しながら。



R6. 11. 11

5年部学年授業研 算数

さらなる高みへ

これまで積み上げてきた力を最大限に生かす。全力で取り組んできたことが、伝わってきます。得た学びは、さらなる高みへと必ずつながることでしょう。



R6. 11. 11

4年部学年授業研 道徳

膝をついて聴く

膝をついて、目線を下げ、子供の話に耳を傾ける。一人一人の声を聴く姿に、子供たちを大切にしていねいに授業に取り組もうとする気持ちを感じます。



R6. 11. 11

6 年部学年授業研 体育

Nice Challenge

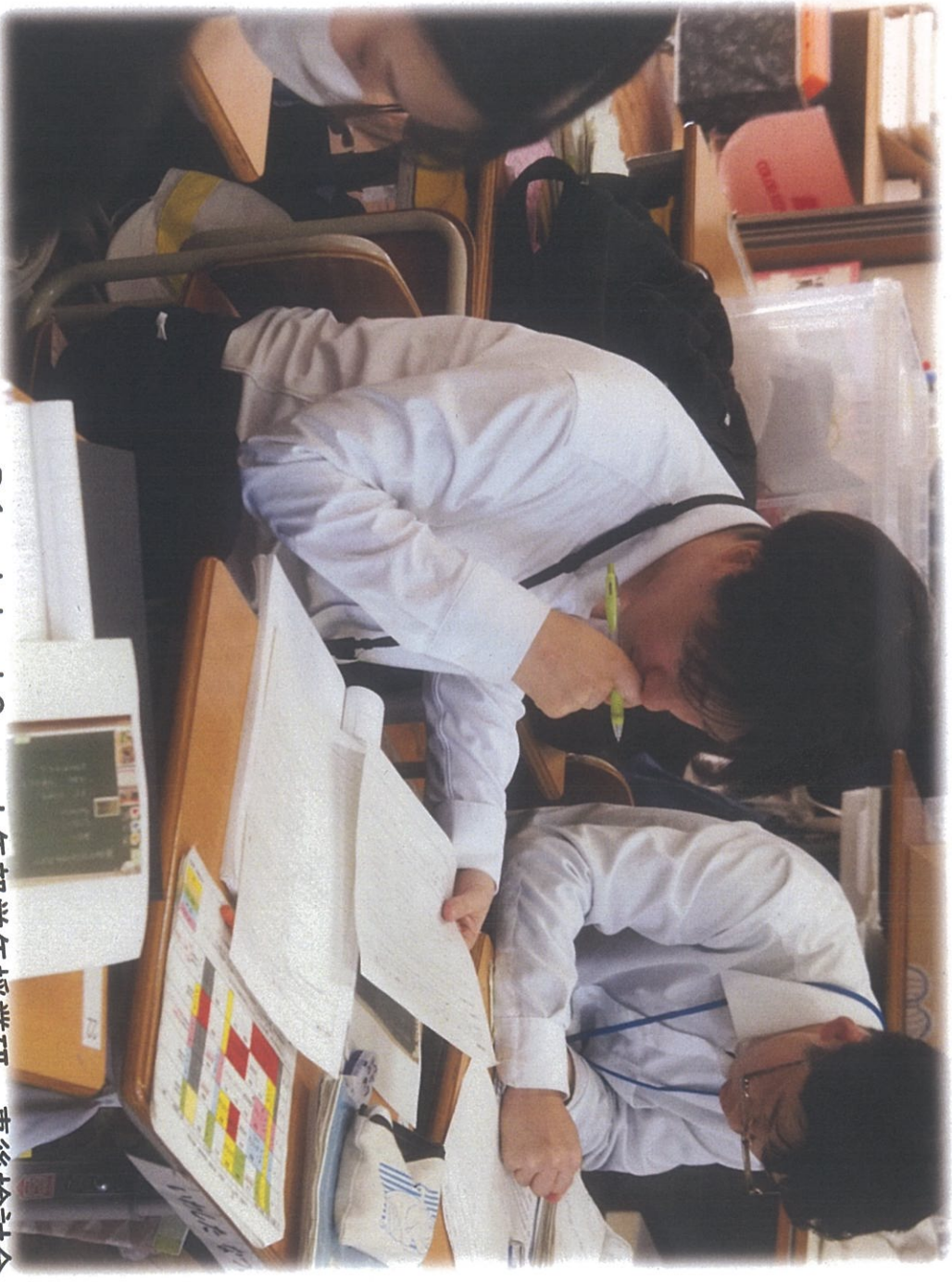
一生懸命に取り組んだことは、決して無駄にはならない。経験したことが学びになり、次に生かされる。挑戦することによって大きな価値がある。



R6. 11. 12 1年部学年授業研 事後検討会

ねらいをもとに振り返る

授業を振り返って行く時の視点として、
ねらいが達成できたかを考える。ねらい
と実際の授業がどうだったのかを比べる
ことは、授業向上への第一歩。



R6. 11. 12 1年部学年授業研 事後検討会

授業記録で語る

自分が書いた授業記録を見返しながら、
児童の姿で、授業を振り返ってみる。記録
をとっただけで終わるのではなく、アウ
トプットして活用することが大事です。

とである。

学年の目標 (3)

(3) 楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。

(3) は、「学びに向かう力、人間性等」に関する目標を示している。

楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組みとは、表現したり鑑賞したりすることが一体になりながら楽しく活動するという低学年特有のよさを生かして活動することである。

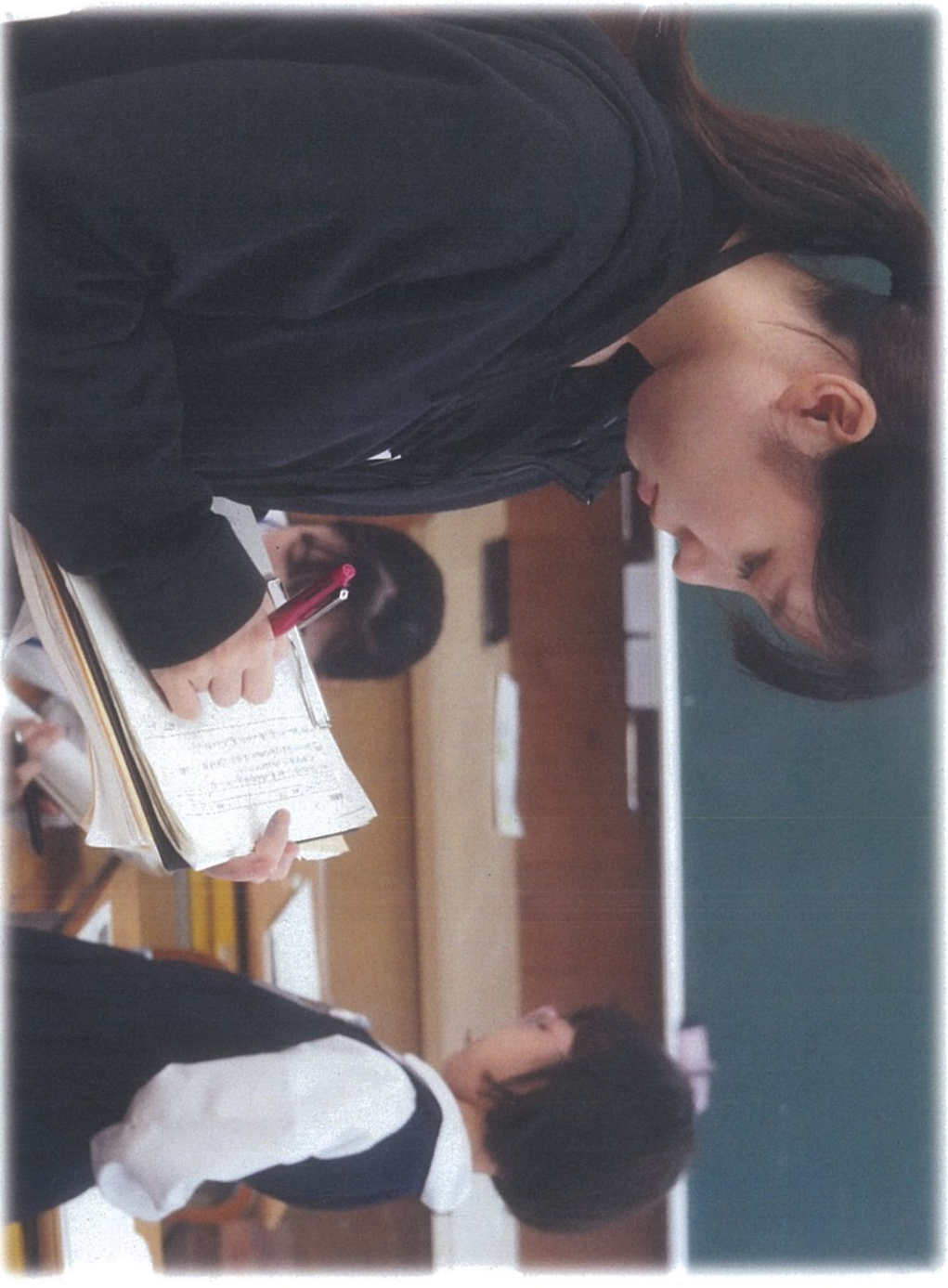
つくりだす喜びを味わうとは、作品などをつくり見たりすることそのものがつくりだす喜びになることを示している。同時に、つくりだす喜びを味わうことが、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を一層育成することになる。

形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養うとは、表現や鑑賞の活動を通して育成する態度について示している。形や色などを視点に、比べたり、選んだり、つくりだしたりするなどし、夢や願いをもち、楽しい生活を自らつくりだそうとする態度を養い、主体的に生きていくことについて示している。

R6. 11. 12 1年部図工学習指導要領解説

教材研究の足跡

教材研究に学習指導要領解説を活用する。つけたい資質・能力は何かを読み取る。囲みや線に、教材研究の足跡が残っていますね。



R6. 11. 12

2年生国語授業

発達段階を見取る

自分の配属と違う学年の子供たちの姿を観察する。比較することで子供の発達段階について、学び。成長によって学習内容や言葉かけも変わること気付く。



R6. 11. 12

3年部学年授業研

事後検討会

自分の糧にする

仲間の授業を自分が見取った児童の姿から考える。「自分だったらどうするのか？」を考え、意見を出すことで、仲間の授業が自分の学びへとつながる。



R6. 11. 12 3年部朝の会

1枚の写真の力

附中の四校園あいさつ運動について、児童に伝える。写真をモニターに映すことで、具体的な様子が分かりやすく伝わる。ICTのよさをよく理解できています。



R6. 11. 12 中休み

児童理解

休み時間に一緒に遊んだり、話したりする。子供との心の距離も縮まり、子供の様子についても理解が深まる。児童理解は、学級経営や授業に役立つ大切なもの。



R6. 11. 12 1年部学年授業研 図工

しらしんけん

これまでの実習で学んだことを全力で発揮する。子供の側に寄り添い、話を聴いて見取ろうとする姿の、しらしんけんさ。子供を大事にしようとする心の現れです。



R6. 11. 13

4年部国語授業

学級キャラクター

子供たちに愛着のある学級キャラクターのバペットを作って、授業で活用する。楽しい雰囲気作りとともに、子供たちが文を考えるイメージが膨らんでいました。



R6. 11. 13

登校の様子

時間を有効に

教育実習の時間には限りがある。だからこそ時間を最大限有効に活用し、積極的に子供たちとのコミュニケーションを図り、自分から楽しい時間にしていく。



R6. 11. 13

5年生道徳授業

学びの輝跡

教育実習ラスト5本目の授業。落ち着いた
子どもたちと一緒に授業を進める姿
に、これまで4週間で身に付けた学びの
輝跡を感じました。

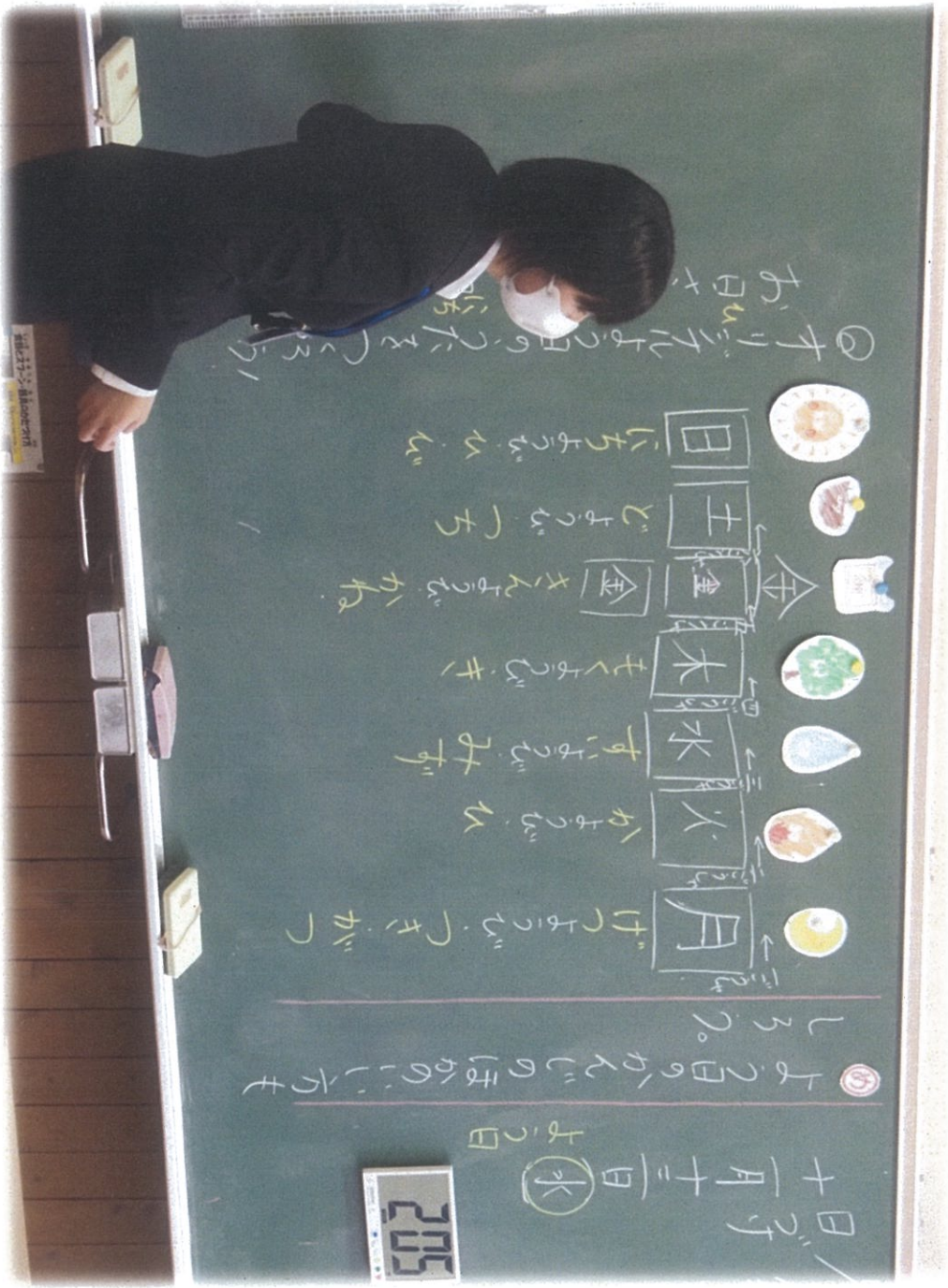


R6. 11. 13

4年生国語授業

かむしやららに

子供たちと真剣に向きあいながら、実習で学んだことを生かして授業をする。そのひたむきながむしやらさが、次の成長につながる。



R6. 11. 13

1年生国語授業

視覚的効果

1年生の子供に漢字のイメージを持つことが
できるよう絵カードを使う。視覚的
な効果は、低学年の子供たちにとって
は理解や思考に大きく影響する。



R6. 11. 13 ASEANの視察団来校

グローバルリーダー

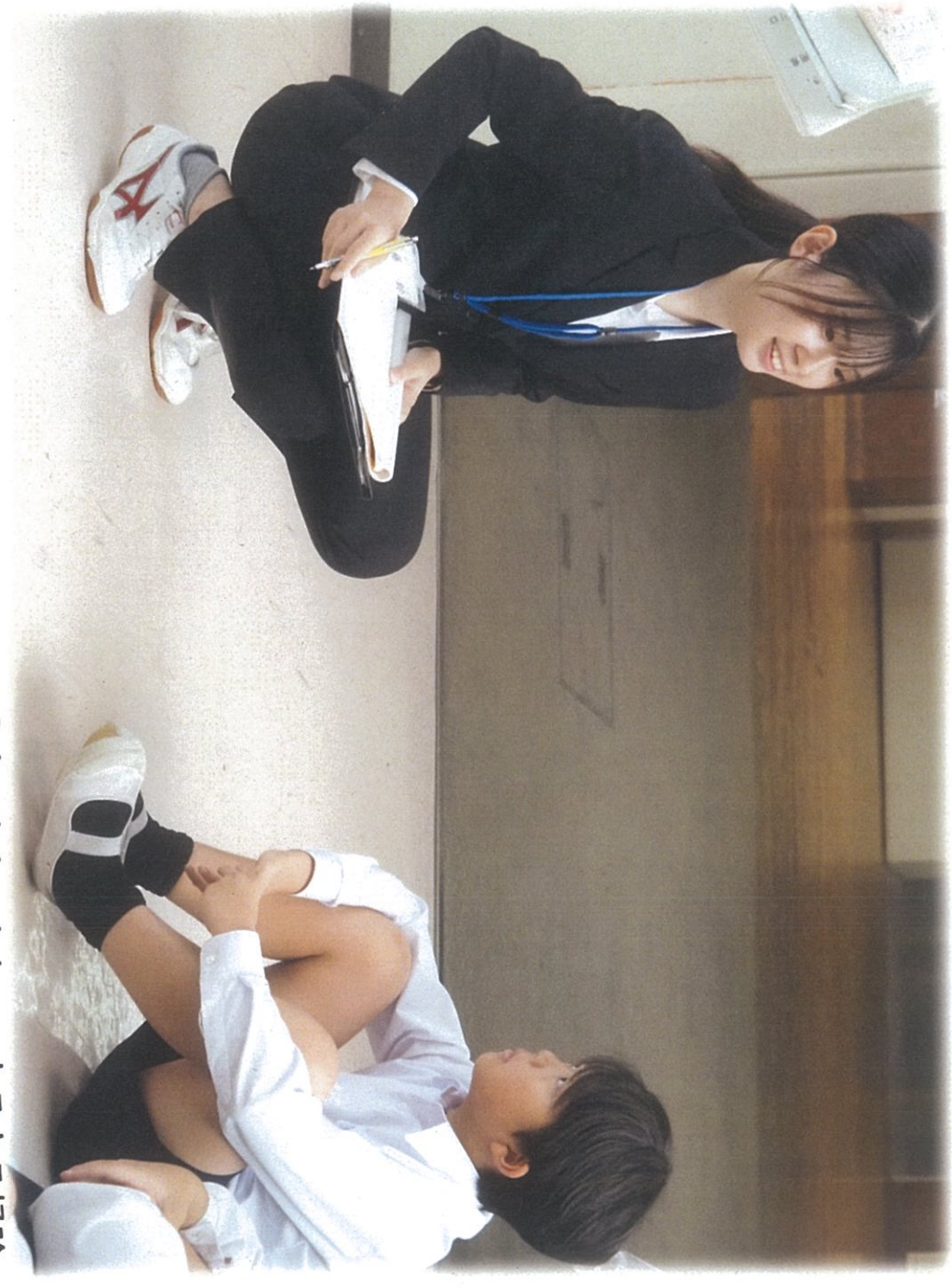
ASEANからの視察団が来校。附小の
学校教育目標「グローバルリーダー」。子
供たちのお手本として、まずは自分たち
から積極的にコミュニケーションする。



R6. 11. 13 4年部国語授業

がまんして待つ

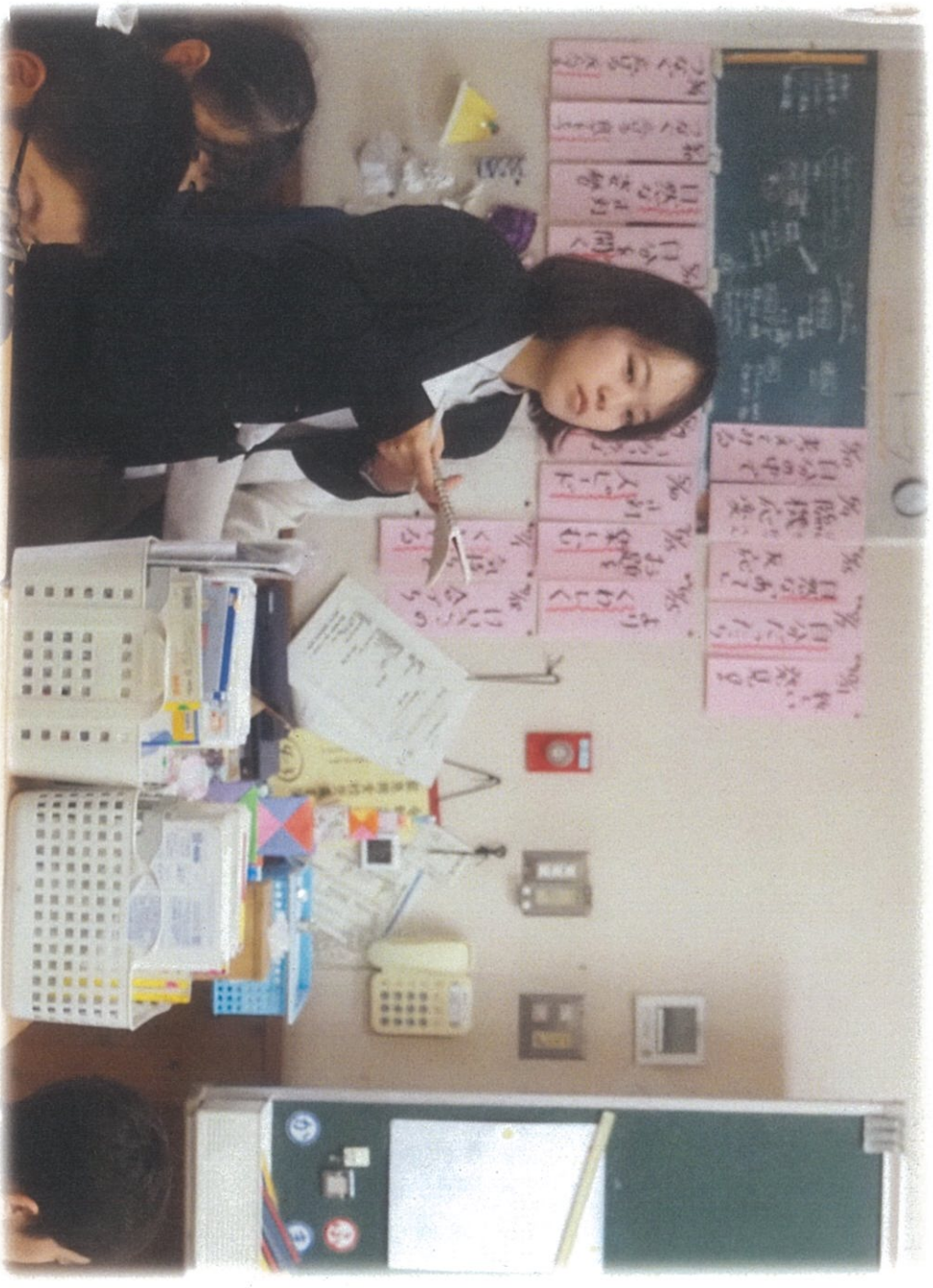
子供たちが意見交換をしている時は、教師が安易に結論を出すのではなく、がまんして待つ。最後まで、待つことで、子供たちが自分たちで意見をまとめていた。



R6. 11. 14 キラキラ掃除

伝える力

掃除で見取った姿を子供たちに伝え、価値づける。名前を出して、具体的な姿を語る。4週間で、そのことが当たり前になるようになりました。

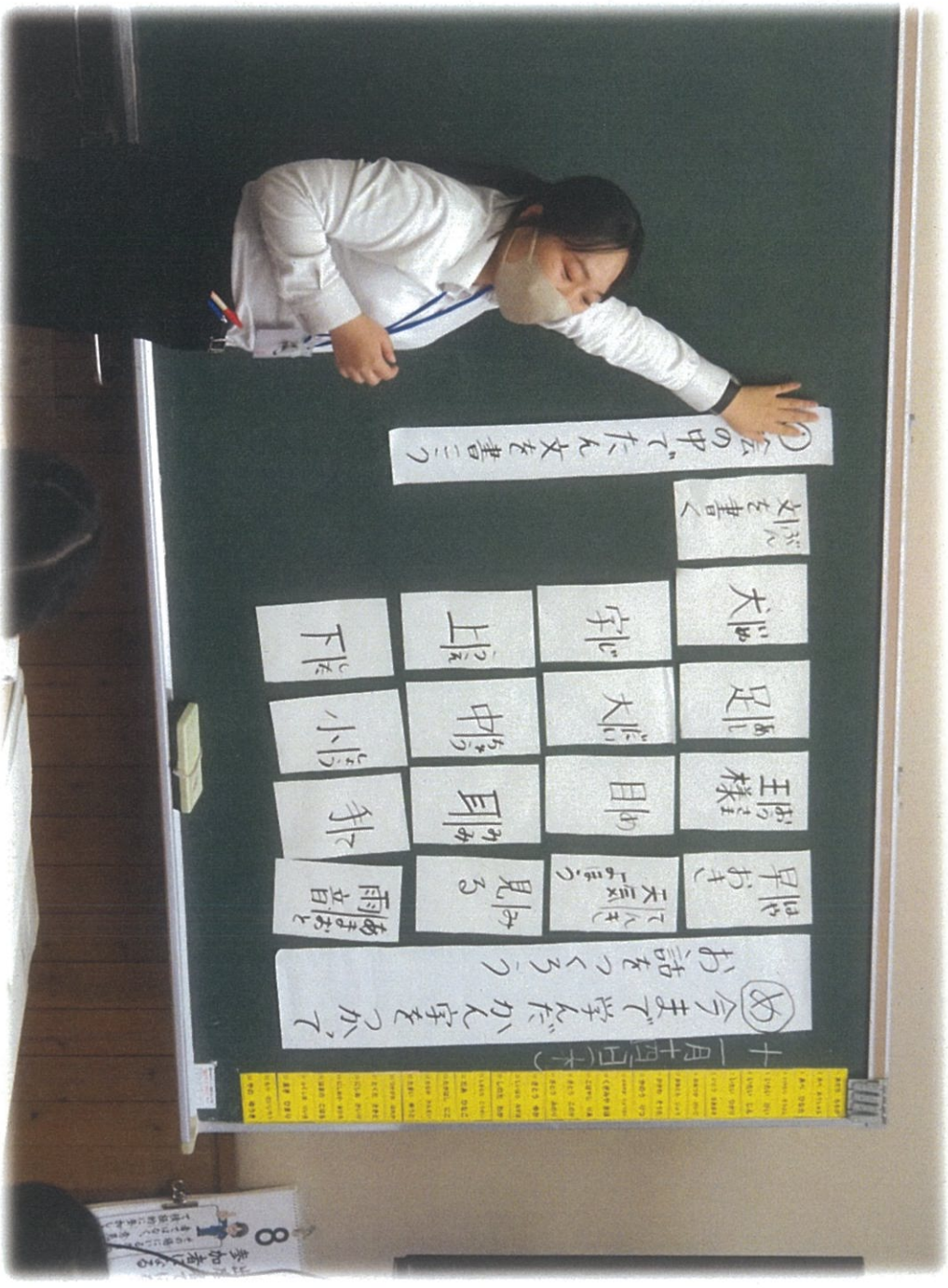


R6. 11. 14

4年生朝の会フリースクール

「見取る」と「見る」の違い

「見取る」と「見る」の違いはどこだろう？
4週間の教育実習によって、「見取るカ」は、大きくアップしている。ぜひ、これから生かしていきたいでしょう。



R6. 11. 14

2年生国語の授業

次のスナテージへ

教育実習もラスト2日。最後の最後まで
授業に全力でチャレンジする姿からは、
4週間の学びと次のスナテージに向けてが
んばろうとする意欲を感じました。



R6.11.14

単元設定の理由書き方講座

最後まで学び続ける

指導案の「単元設定の理由」の書き方を学びたい。教材観、児童観、指導観を書いてみる。難しいけれど、この3週間の学びがあれば分かることも多かったです。

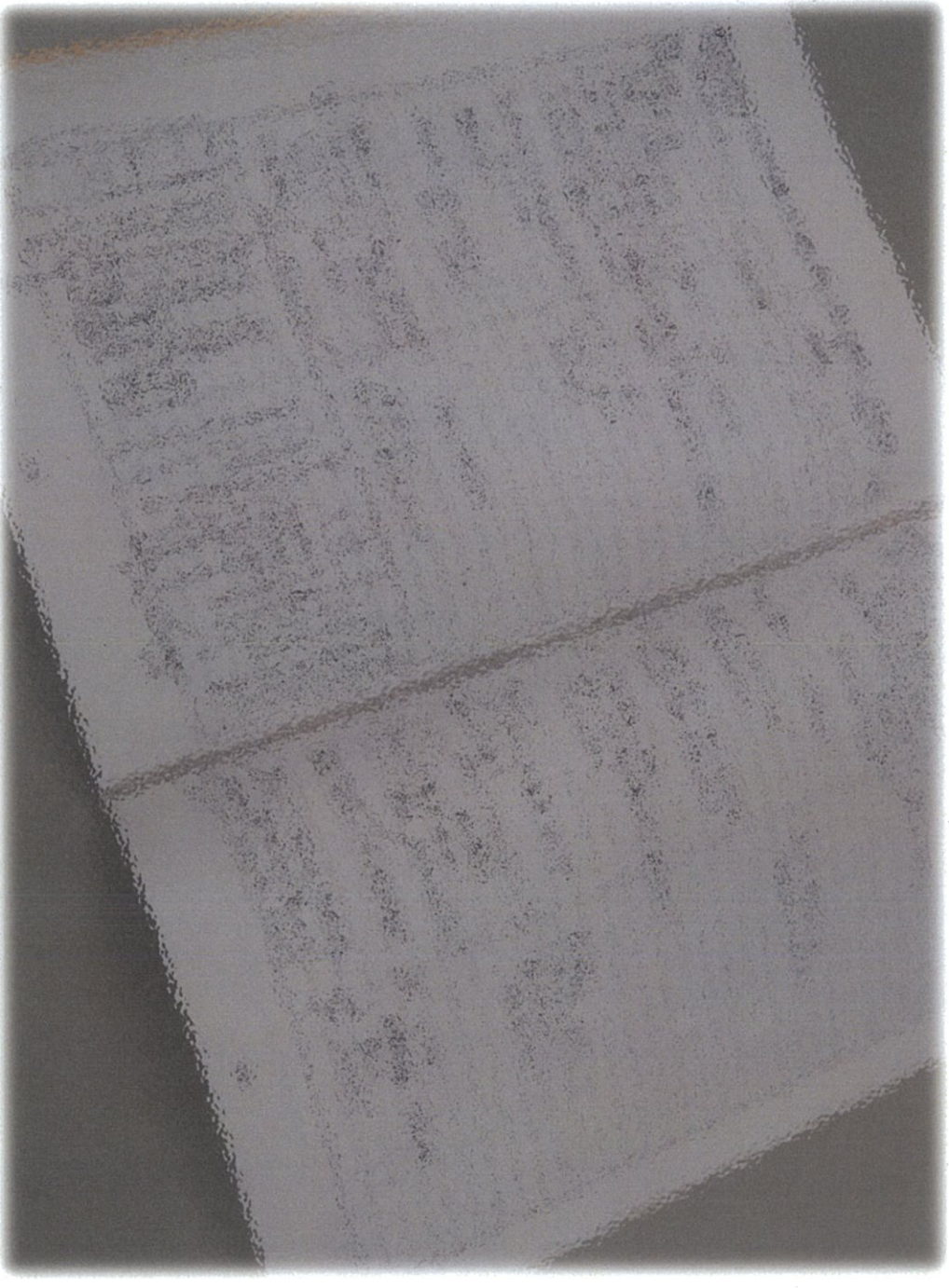


R6. 11. 14

単元設定の理由書き方講座

仲間のために

早く来た人が、みんなの分の椅子を並べる。自分だけでなく、周りの人のために動ける思いやりの気持ち。その考動は、子供たちの心に響きます。



R6. 11. 14

実習日誌・ファイル提出

実習ノートは宝箱

板書の様子まで、ぎっしり書かれた授業記録とたくさんさんのメモやふり返りは、4週間の学びの証。実習ノートが宝箱に。困った時には開いてみよう。解決の糸口に。

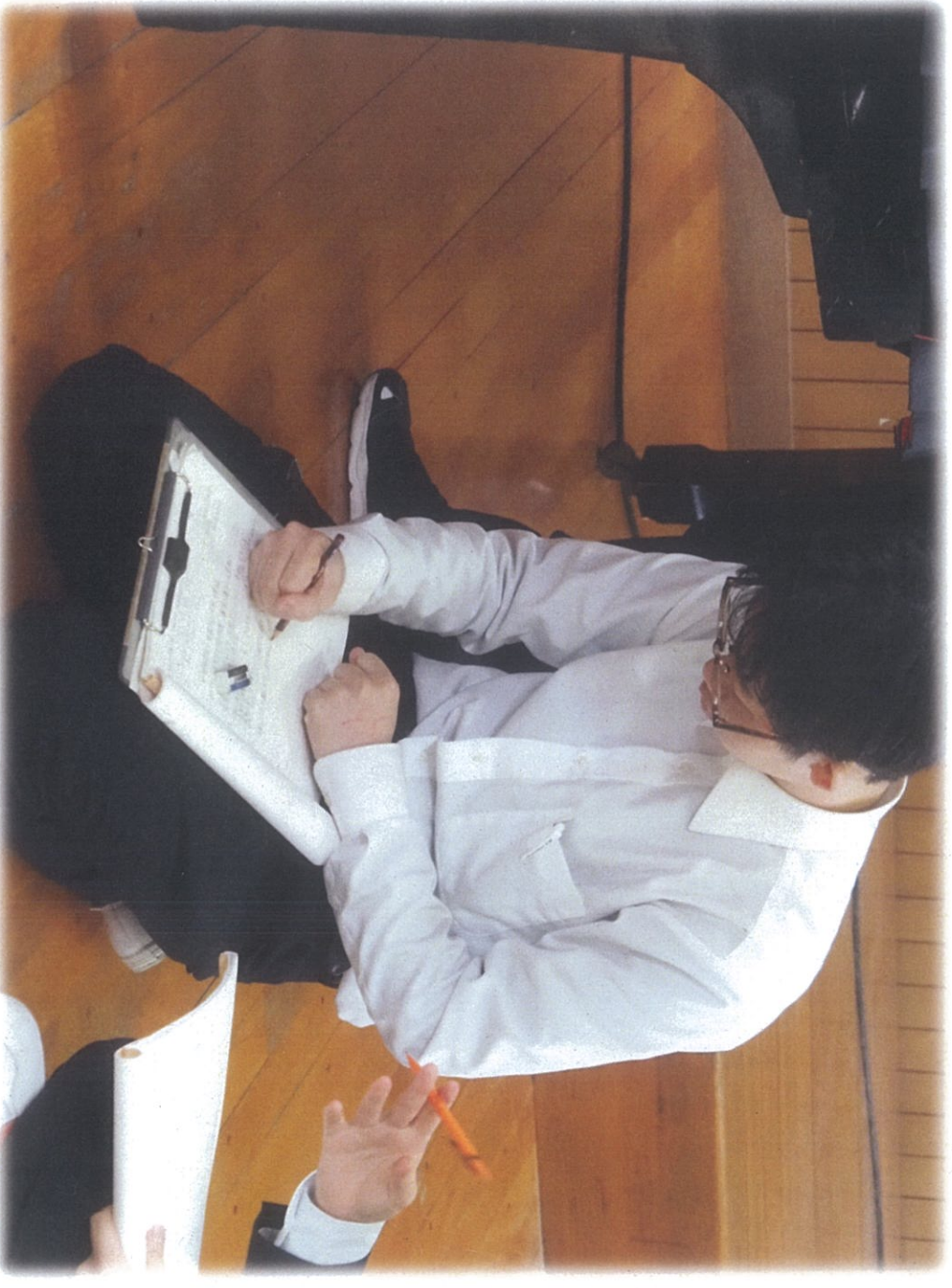


R6. 11. 14

休み時間の様子

一期一会

つないだ手の先にある笑顔。実習で、子供たちや先生方、仲間出会えたことは奇跡。実習で学んだ様々なことをこれからの自分の夢の実現につなげていきましょう。



R6. 11. 15 終末反省会

学びの意欲

仲間の4週間の学びを聴き、記録に残していく。記録をすることが当たり前になっていきます。実習終了まで学び意欲は、これからの学びにも続いていくでしょう。



R6. 11. 15 1年生お別れ会

夢に向かかって

子供たちからの笑顔と歌のプレゼント。
4週間子供たちと心をつないで、がんば
ってきた成果。夢に向かうパワーをもら
ったね。Dreams Come True!!



R6. 11. 15 終末反省会

これからに生かす

4週間の多くの成果と課題をこれからに生かす。1年半後に向けてできることを考え、チャレンジしていきましょう。何事もみなさんの未来につながっています。

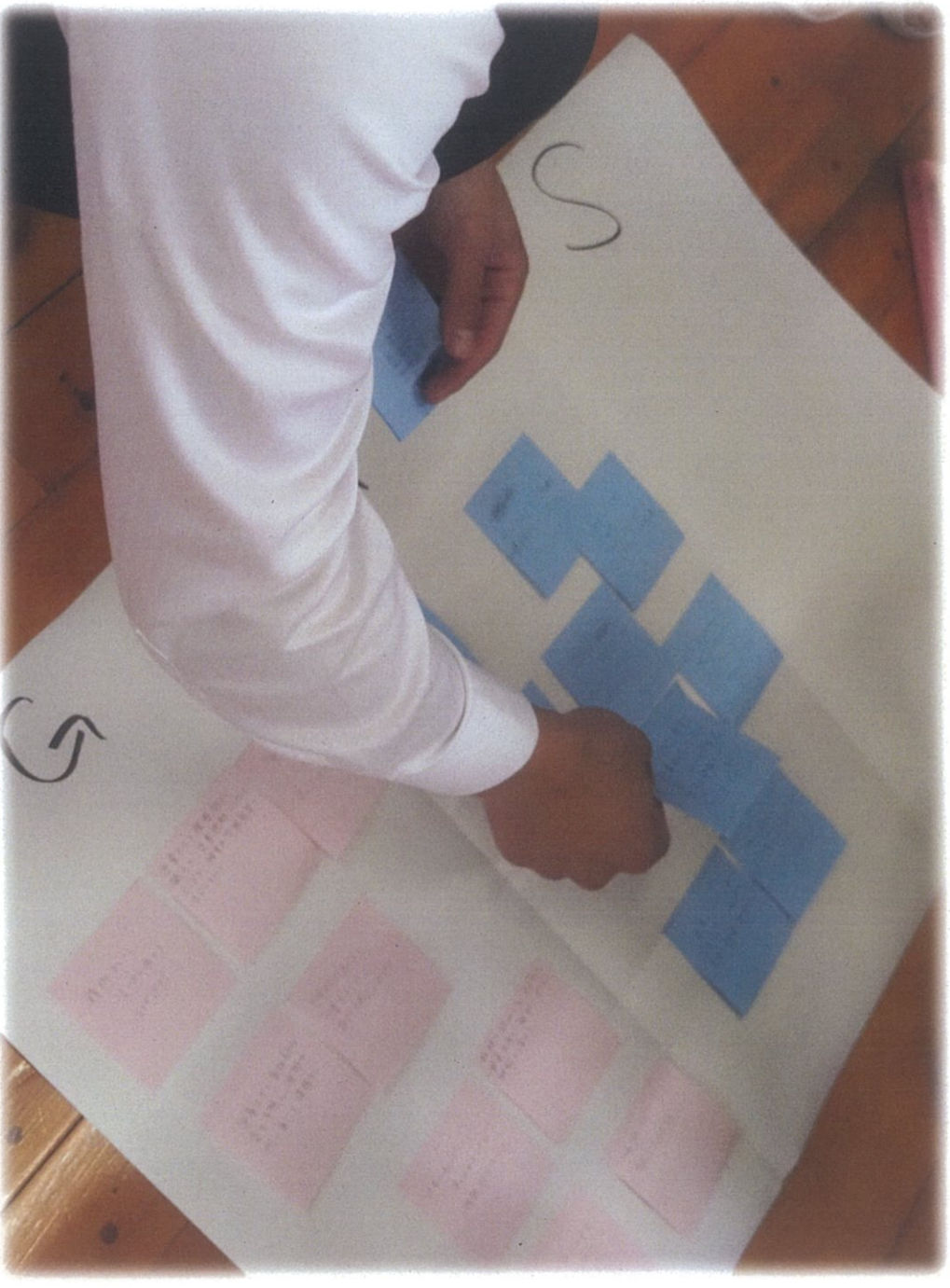


R6. 11. 15

終末反省会

達成感

教育実習4週間の経験を語る。一生懸命に取り組んだ成果。価値ある人生経験ができましたね。みんな達成感にあふれたいい笑顔でした。



R6. 11. 15 終末反省会

自分に厳しく

たくさんの課題を見つげる。自分への厳しい目は、成長につながりますね。でも、成果は、それ以上にもっともっといっぱいありましたよ。



R6. 11. 15

4年生お別れ会

いつか一緒に

4週間お疲れさま。一生懸命にがんばった全てが宝物です。夢に向かうチャレンジを応援しています。いつか一緒に働ける日を楽しみにしています！